## ~ 代表挨拶 ~

慈有塾はもう一度勉強をやり直したい 15歳~28歳の若者たちが学ぶ無料塾です。

当団体の生徒の中には、水商売・性風俗産業従事者や少年院出身で現在貧困に苦しんでいたり、精神疾患を患っている子もいます。彼らに、もう一度勉強する機会やセカンドキャリアを一緒に考える時間を提供する非営利の塾として無料学習支援事業をメインに活動しております。

主に高校卒業程度認定試験・大学受験を目標として、東京都多摩市・八王子市を拠点に現在計 20 名弱の若者が学んでおり、原則として授業料・教材費は無料、負担は各種試験の受験料のみです。

上記の無料学習支援事業以外に、他団体等と連携し、簡易的なシェルター事業(泊まる場所のない少女に一時的に宿泊場所を提供する)や、相談事業、また引きこもりの子に対する講師派遣サービスも行っております。 昨今、「子供の貧困」が問題視される中で、地域に根付いて学習支援を行うことの重要性を日々実感しております。 貧困を解決するために、まず教育の格差を是正することが急務だと我々は考えております。

現在の日本は労働人口が足りないと言われていますが、低学歴、過去の過ち、水商売や風俗・グレーゾーンの 仕事から抜け出せない、したくても方法がわからないため働けない若者がいます。無料塾は彼らに適切な社会 で生き抜く力、まずは『学歴・学力』を与え一つ一つの目標を達成しながら自信につなげてもらい、結果的に、 日本経済を支えていってもらうことを狙いとしています。

代表 高木 実有



### ◆ 蒸有塾概要

【正式名称】一般社団法人 慈有塾

#### 略歴

2008年4月

大学在学中、代表高木が個人的なボランティア活動 を開始。(水商売・性風俗産業従事者・児童養護施設・ 少年院出身等を対象)

2014年8月

生徒数増に合わせて、個人から団体へ。無料塾である『慈有塾』を東京都多摩市の自宅にて設立。

2014年12月 在籍生徒数が10名を超える。

2015年5月

在籍生徒数が 15 名を超える。 相談支援件数が通算 20 回を超える。

2015年9月

代表の自宅の一部を改装し、シェルター事業を開始。 引きこもりや、交通費を用意できない若者を対象と した講師派遣を開始。

2015年12月

京都市にて八王子つばめ塾主催の第二回無料塾シンポジウムに登壇。シェルターの使用が通算10回を超える。



## 2014年度 会計報告

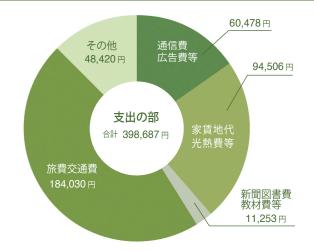
#### 収入の部

なし(2014年はすべて代表 髙木の持ち出し資金)

### 支出の部

• 通信費 / 広告費等	60,478円
• 家賃地代 / 光熱費等	94.506円
• 新聞図書費 / 教材費等······	11.253円
• 旅費交通費······	184,030円
<ul><li>その他</li></ul>	48,420円

合計 398,687円







# 2014 ⋅ 2015年度 活動報告

### ①無料塾事業

## 生徒数 19名 (※2016年3月現在)

2008年に代表・高木が個人的な学習ボランティア事業を始めてから 9年目 となる現在、生徒数は19名まで増加しました。生徒の大多数が「高卒認定試験」 合格を目指しており、多くの皆様のご支援により、勉強をやり直すことがで きています。



#### 高等学校卒業程度認定試験とは

高等学校卒業程度認定試験は、様々な理由で、高等学校を卒業できなかった者等の学習成果を適切に評価し、高等学校を卒業した者と同等以上 の学力があるかどうかを認定するための試験です。合格者は大学・短大・専門学校の受験資格が与えられます。また、高等学校卒業者と同等以 上の学力がある者として認定され、就職、資格試験等に活用することができます。

文部科学省HPより http://www.mext.go.jp/a\_menu/koutou/shiken/



#### ②相談事業

### 月5件以上

学習支援相談だけでなく、生活相談・生活保護申請窓口同行など、生徒の 皆さんが少しでも安心して目標に向かって勉強できるよう、生活面の相談 事業も行っています。

### ③シェルター事業

④研修・啓発事業

16回

2 回

2015年より、シェルター事業を展開しています。

生徒からの 言葉

#### ~学ぶ事に縁のなかった私に、大きなチャンスと夢を与えてくれた『慈有塾』~

知人に慈有塾を紹介していただき、興味はあったものの連絡をする勇気がなく、悶々 とする日々が続いていましたが、意を決して慈有塾に連絡をとり、面談をしていただき 晴れて入塾することが出来ました。私は今、真心の込もった寄付金のおかげで、教材 を手にする事ができ、日々勉強することができています。「高卒認定試験」に合格する ことができたら、大学を受験したいと思っています。本当に、学ぶ事に縁がなかった私に、 大きなチャンスと夢を与えてくださりありがとうございました。



